

# 外国人材受け入れ、 「特区」で

丸二倉庫株式会社  
専務取締役 首都圏本部長  
青木 弍さん

## 東京からこんにちは

静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さの可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

### アパレル中心に扱う

財閥系大手商社を早期退職し、いまの会社に就職した。創業以来一度も赤字決算なしの優良企業だ。「倉庫」の名がついているが、1986年の首都圏進出を機にロジスティックス業務に転換した。

高品質のサービス、環境との調和に力を入れ、東京（首都圏本部）と大阪（本社）の両輪体制で全国をカバーする。それぞれに物流センター、営業所を集中配置し、「兵力」分散による経費増を抑制し、機動性を持たせたコンパクトな運営を行っています」。

多い日には1日約40万点の商品を扱う。多くは、アルマーニなど海外ブランドの高級アパレルをはじめとするファッション関連。「アパレル業界特有の季節的変動や突発的な入出荷にも迅速に対応できるよう、スタッフ能力のマルチ化、端末の共通化などを進めています。ですから弊社では繁忙営業所に助っ人で急きよ派遣されても即戦力になれるんです」。

同規模企業では珍しいといわれる30人を超すシステムエンジニアを持ち、顧客の要望に応じて各種プログラムを独自仕様の物流システムに取り込み、低価格で提供可能なものも強みだ。商品の保管場所や在庫量

などを瞬時に把握でき、EC物流の分野でも業績を伸ばしている。

### 安全・安心、ソフト面も

商社マンとして通算16年に及ぶ海外勤務を経験。国や地域の「安全・安心」の重要性を肌で感じたという。「安全・安心」というと、ハード面に目が向きがちですが、言葉のバリエーションも含めたまちづくりを期待したいですね。海外から見ると静岡が安全・安心で住みやすく、面白いまちとなれば注目度もぐんとアップするでしょう」と指摘。

一例として、「法整備等を踏まえ、外国人材特区」のようなものを設定し、外国の方々が安心して働ける場所の提供や、留学生受け入れを巡る静岡大学などの連携強化、インターナショナルフェスティバルの開催などを通じ、言葉のバリエーションに役立て、交流を深められたらどうでしょう」と話す。

最後に東京でビジネスをする場合のアドバイスを求めると、①スピード感②アイデア③多言語への対応力に加え、我慢強さを挙げた。（文：長田義明、写真提供：青木さん）



Hajime Aoki

静岡市駿河区生まれ。県立静岡高校卒業。静岡大学人文学部卒業。三井物産株式会社入社。大阪支店、米国三井物産ヒューストン支店、米国三井物産ナッシュビル支店長、鉄鋼製品本部長などを歴任し、2000年、三井物産退社。同年、丸二倉庫株式会社顧問、専務取締役首都圏本部長などを経て、18年、専務取締役首都圏本部長に就任。71歳。  
<http://www.maruni-soko.co.jp/>